



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

株式会社
メディカルシステムネットワーク

平成30年3月期 通期

業績説明資料・第五次中期経営計画

東京証券取引所市場第一部 証券コード4350

記載内容に関して

- ※ 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- ※ また、本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願いいたします。

本資料につきましては、当社公式ウェブサイトよりご覧いただけます。

URL : <http://www.msnw.co.jp/>



目次

業績ハイライト	．．．	4
平成30年3月期レビュー・トピックス	．．．	12
第五次中期経営計画	．．．	26
平成31年3月期 業績予想	．．．	32
参考資料	．．．	38

業績ハイライト



平成30年3月期 通期 — 連結業績



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

増収増益
の
要因

主力事業である医薬品等ネットワーク事業と調剤薬局事業が
順調に推移

(単位：百万円)	① H29/3期 (実績)	② H30/3期 (計画)	③ H30/3期 (実績)	前年同期比		計画比	
				増減額 (③-①)	増減率	差額 (③-②)	達成率
売上高	88,865	95,000	93,977	+ 5,112	+ 5.8 %	▲ 1,022	98.9 %
営業利益 利益率	2,113 2.4 %	3,100 3.3 %	3,163 3.4 %	+ 1,050	+ 49.7 %	+ 63	102.1 %
経常利益 利益率	2,109 2.4 %	3,000 3.2 %	3,250 3.5 %	+ 1,141	+ 54.1 %	+ 250	108.4 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益 利益率	571 0.6 %	1,000 1.1 %	1,022 1.1 %	+ 450	+ 78.8 %	+ 22	102.2 %
1株当たり 当期純利益 (円)	19.31	33.77	34.45	+ 15.14	-	+ 0.68	-
EBITDA [※]	4,717	-	5,711	+ 994	+ 21.1 %	-	-

※ EBITDAは「営業利益+減価償却費+のれん償却費」で算出

平成30年3月期 通期 – セグメント別業績

■ 売上高

	①H29/3期 (実績)	②H30/3期 (計画)	③H30/3期 (実績)	前年同期比		計画比	
				増減額 (③-①)	増減率	差額 (③-②)	達成率
売上高	88,865	95,000	93,977	+ 5,112	+ 5.8 %	▲ 1,022	98.9 %
医薬品等ネットワーク事業	3,237	3,397	3,639	+ 402	+ 12.4 %	+ 242	107.1 %
調剤薬局事業	81,650	87,539	87,172	+ 5,522	+ 6.8 %	▲ 366	99.6 %
ほか 5事業※	6,878	6,923	6,228	▲ 649	▲ 9.4 %	▲ 695	90.0 %
調整額	▲ 2,900	▲ 2,860	▲ 3,063	▲ 162	-	▲ 202	-

■ 営業利益

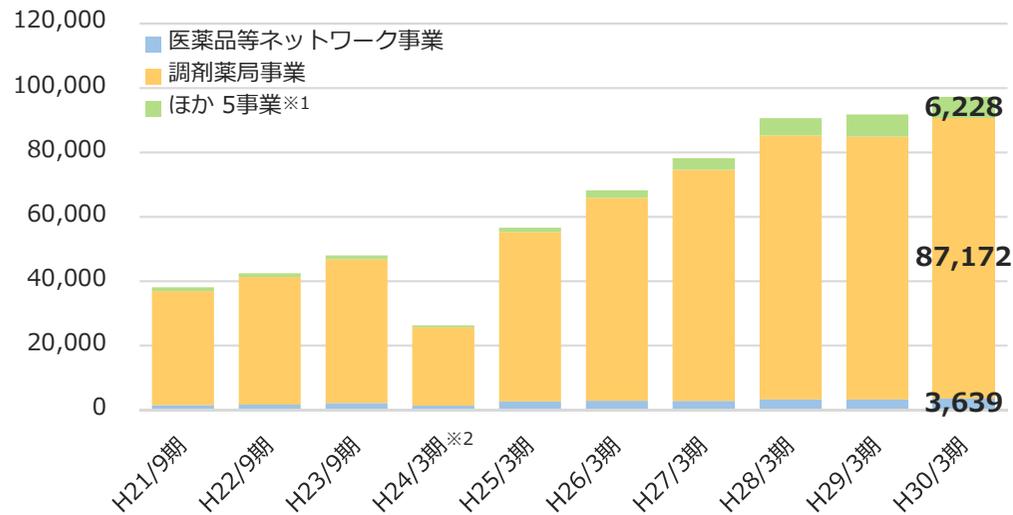
	①H29/3期 (実績)	②H30/3期 (計画)	③H30/3期 (実績)	前年同期比		計画比	
				増減額 (③-①)	増減率	差額 (③-②)	達成率
セグメント利益	2,113 (2.4 %)	3,100 (3.3 %)	3,163 (3.4 %)	+ 1,050 (+ 1.0 pt)	+ 49.7 %	+ 63	102.1 %
医薬品等ネットワーク事業	1,718 (53.1 %)	1,839 (54.1 %)	1,949 (53.6 %)	+ 230 (+ 0.5 pt)	+ 13.4 %	+ 110	106.0 %
調剤薬局事業	2,314 (2.8 %)	2,943 (3.4 %)	3,060 (3.5 %)	+ 746 (+ 0.7 pt)	+ 32.2 %	+ 116	104.0 %
ほか 5事業※	▲ 436 (-)	▲ 254 (-)	▲ 235 (-)	+ 201 (-)	-	+ 19	-
調整額	▲ 1,482 (-)	▲ 1,428 (-)	▲ 1,610 (-)	▲ 128 (-)	-	▲ 182	-

※ 賃貸・設備関連事業、給食事業、治験施設支援事業（平成29年6月21日付で運営会社株式を譲渡）、訪問看護事業、医薬品製造販売事業

平成30年3月期 通期 — セグメント別業績

■ 売上高推移

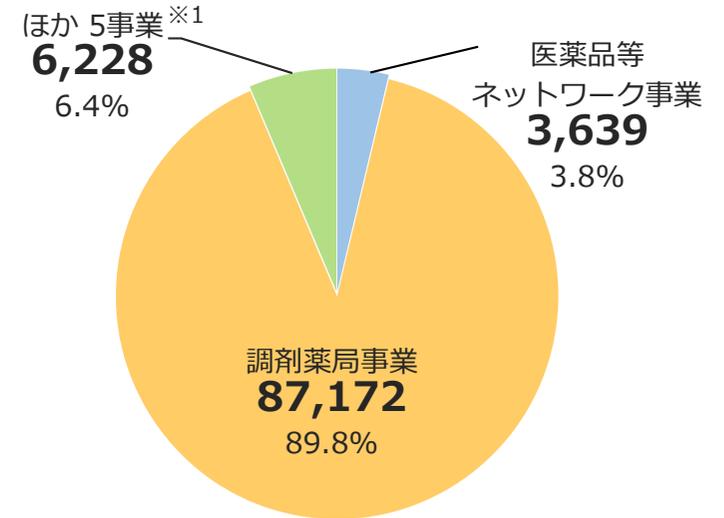
※内部取引相殺前 (単位：百万円)



■ 構成比

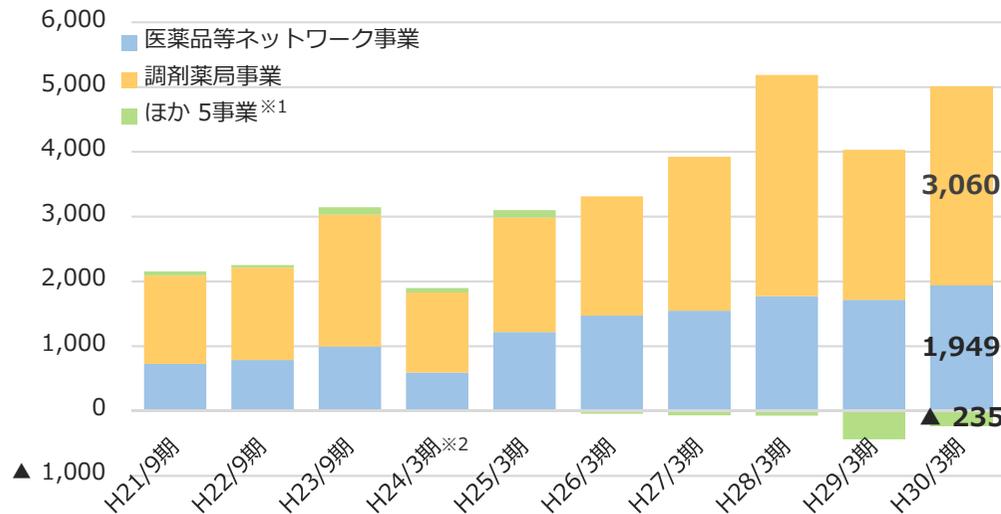
※内部取引相殺前 (単位：百万円)

【売上高】

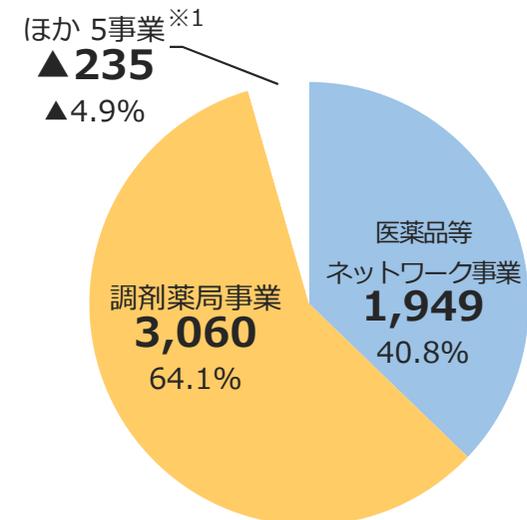


■ 営業利益推移

※内部取引相殺前 (単位：百万円)



【営業利益】



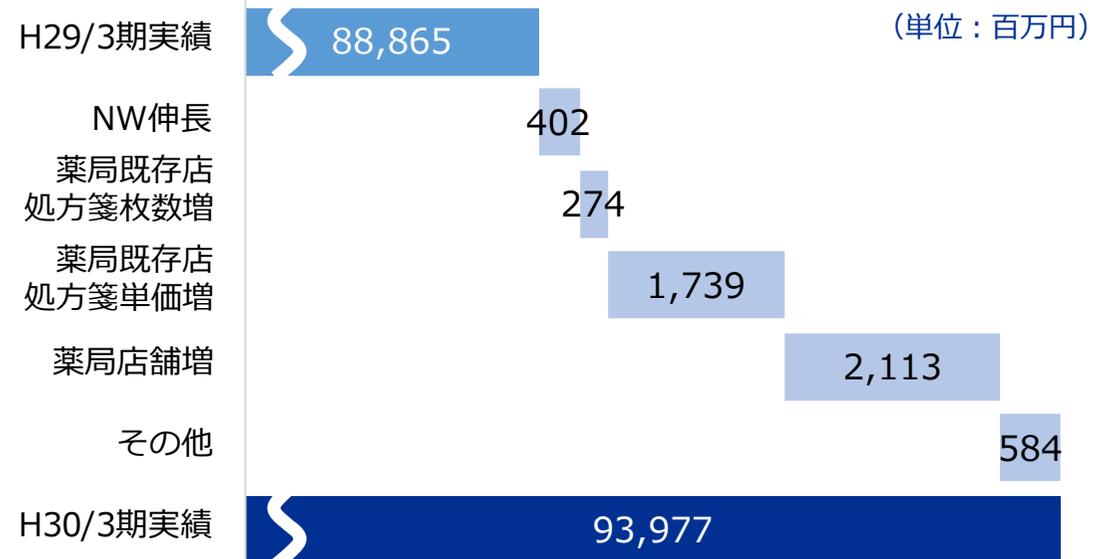
※1 賃貸・設備関連事業、給食事業、治験施設支援事業（平成29年6月21日付で運営会社株式を譲渡）、訪問看護事業、医薬品製造販売事業

※2 決算期変更のため、H24/3期は6か月決算

平成30年3月期 通期 — 前期比要因

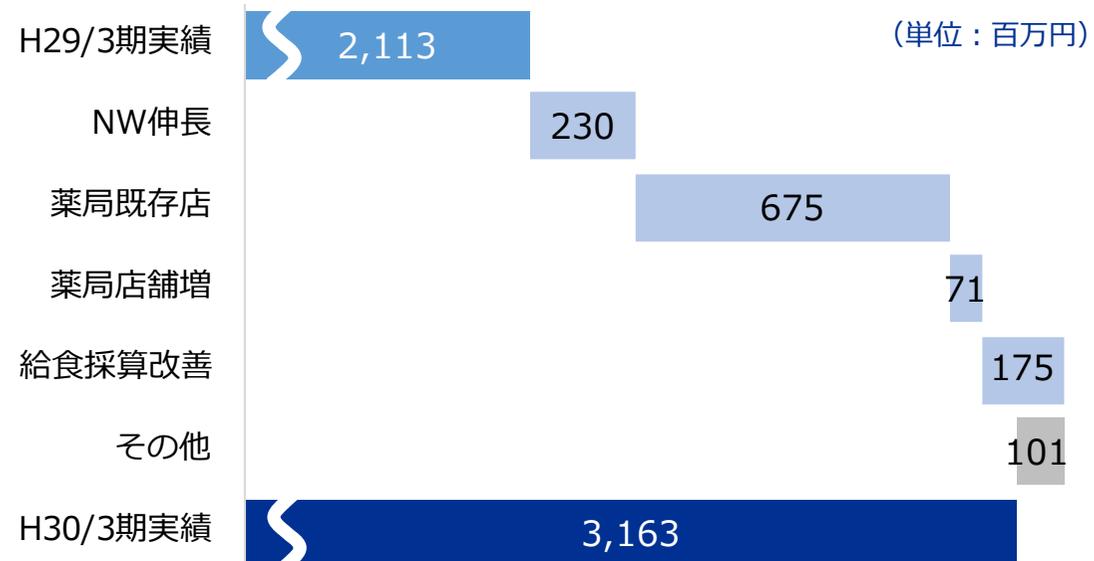
■ 売上高

- ・ 医薬品ネットワーク 加盟店伸長
- ・ 薬局 既存店処方箋単価好調
- ・ 薬局 開局・M&A効果



■ 営業利益

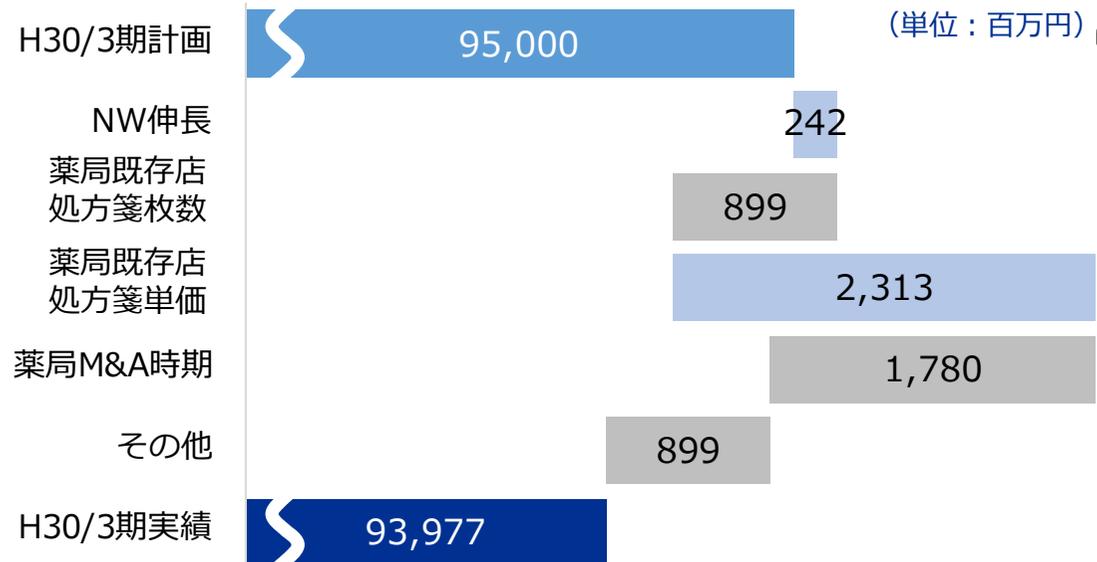
- ・ 医薬品ネットワーク 加盟店伸長
- ・ 薬局 既存店好調
- ・ 給食 採算改善（不採算施設撤退）



平成30年3月期 通期 — 計画比要因

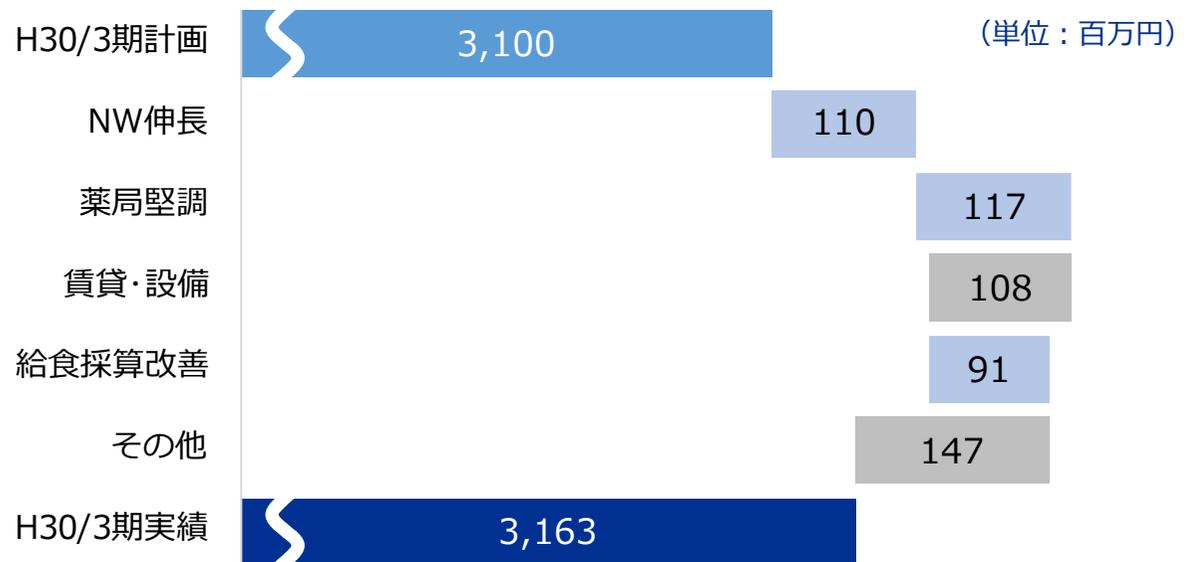
■ 売上高

- ・ 医薬品ネットワーク 加盟店伸長
- ・ 薬局 既存店処方箋枚数伸び悩み
// 単価伸長
M&A寄与月数ずれ
- ・ その他 給食不採算施設撤退等



■ 営業利益

- ・ 医薬品ネットワーク 加盟店伸長
- ・ 薬局 堅調に推移
- ・ 賃貸・設備 サ高住の入居遅れ
- ・ 給食 採算改善 (不採算施設撤退)



平成30年3月期 通期 — 連結貸借対照表



ポイント

資産の部：現金及び預金、土地及び建設仮勘定並びにのれんの増加

負債の部：借入金増加

純資産の部：新株予約権行使による増加、子会社株式追加取得による減少

■ 平成29年3月期末

(単位：百万円)

資産計	50,737	負債計	40,092
流動資産	11,098	流動負債	16,920
現預金	2,252	短期借入金 [※]	3,246
		固定負債	23,172
固定資産	39,639	長期借入金	18,479
有形固定資産	21,246	純資産計	10,644
無形固定資産	13,833	資本金	1,932
のれん	13,184	資本剰余金	1,742
		利益剰余金	6,735
		自己株式	▲302
資産合計	50,737	負債・純資産合計	50,737

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む

■ 平成30年3月期末

(単位：百万円)

資産計	62,759	負債計	52,174
流動資産	18,736	流動負債	21,769
現預金	10,201	短期借入金 ^{※1}	6,899
		固定負債	30,404
固定資産	44,023	長期借入金	24,679
有形固定資産	24,129	純資産計	10,584
無形固定資産	15,045	資本金	2,097
のれん	14,451	資本剰余金 ^{※2}	1,160
		利益剰余金	7,459
		自己株式	▲275
資産合計	62,759	負債・純資産合計	62,759

※1 1年以内返済予定の長期借入金を含む

※2 平成29年4月4日付で連結子会社である(株)ファーマホールディング(平成29年10月1日付で吸収合併)の株式を追加取得したことにより減少

自己資本比率

20.1 %

自己資本比率

16.9 %

平成30年3月期 通期 — 連結キャッシュ・フロー



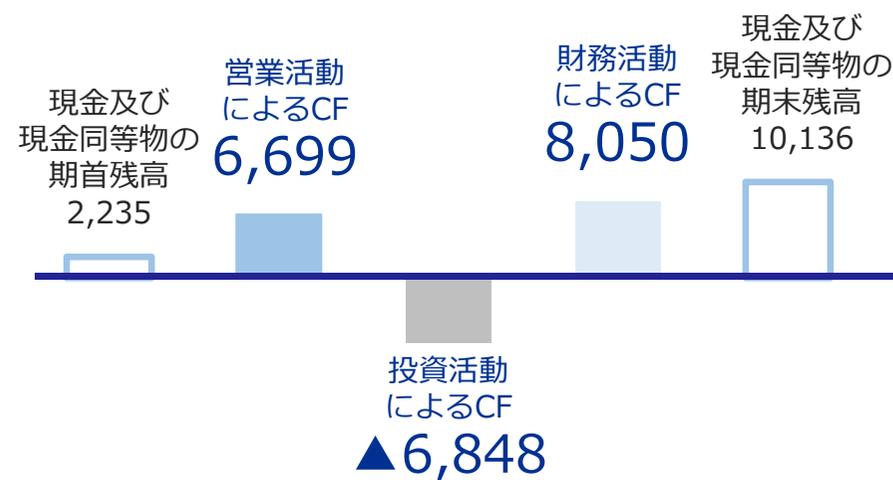
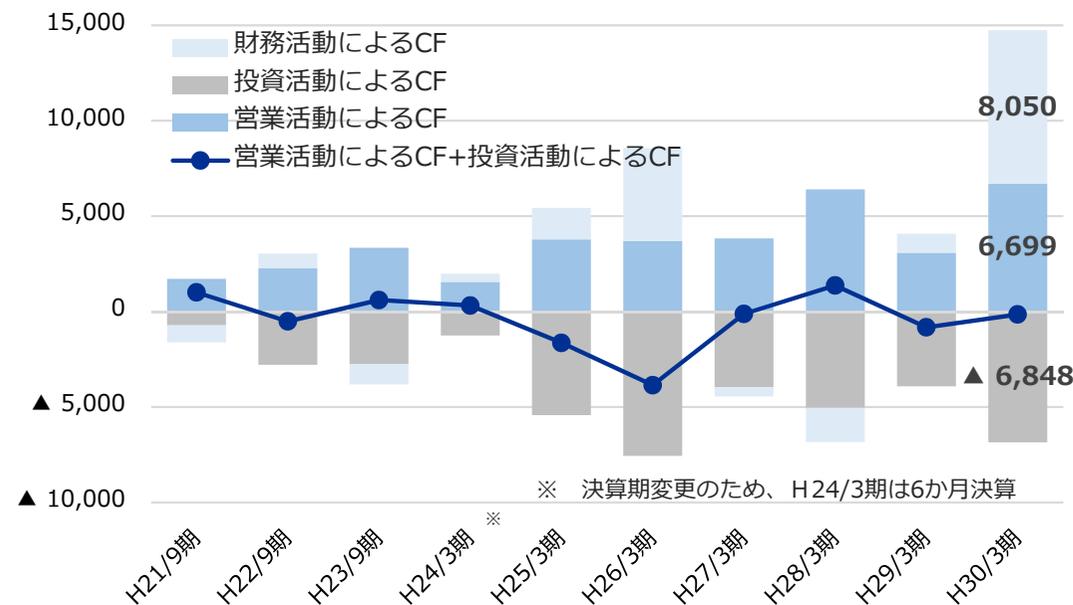
MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

営業活動による キャッシュ・フロー	6,699 百万円	EBITDA[※] 法人税等の支払 運転資本の増減による影響額 ※「営業利益+減価償却費+のれん償却費」で算出	5,711 百万円 ▲ 748 百万円 686百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	▲6,848 百万円	土地、建物等の取得 M&A（株式取得・事業譲受）	▲ 4,050 百万円 ▲ 2,466 百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	8,050 百万円	借入金増加額 子会社株式の追加取得	9,890 百万円 ▲ 1,201 百万円

■ キャッシュ・フロー推移

(単位：百万円)

■ 平成30年3月期 (単位：百万円)



平成30年3月期レビュー トピックス

平成30年3月期 重点施策レビュー

■ 医薬品ネットワーク

- ・ 加盟件数 **2,509**件（前期比+739件）
→ 計画 2,200件を大幅超過達成
- ・ 提携先からの紹介、団体加入の増加
- ・ 医薬品取扱高 **1,691**億円
（前期比+317億円）
→ 流通効率化の取組を本格化

■ 調剤薬局事業

技術料は順調、処方箋増加は目標未達

- ・ 既存店技術料単価 2,354円
（計画：2,351円）
- ・ 既存店処方箋枚数 前期比+0.4%
（計画：+1.5%）

■ 新規出店・M&A 概ね計画通り達成

- ・ 新規出店 8店舗（計画：10店舗）
- ・ M&A 19店舗（計画：20店舗）
- ・ 期末店舗数399店舗（前期比+22店舗）

■ サ高住（ウイステリア千里中央）

- ・ 入居は34戸／82戸（41%）と計画未達
（計画：50戸・61%）
- ・ 介護度改善による退去も影響

■ グループ組織再編を完了

- ・ 子会社5社を吸収合併
- ・ 不振のSMO事業の切り離し

医薬品等ネットワーク事業 — 業績概要

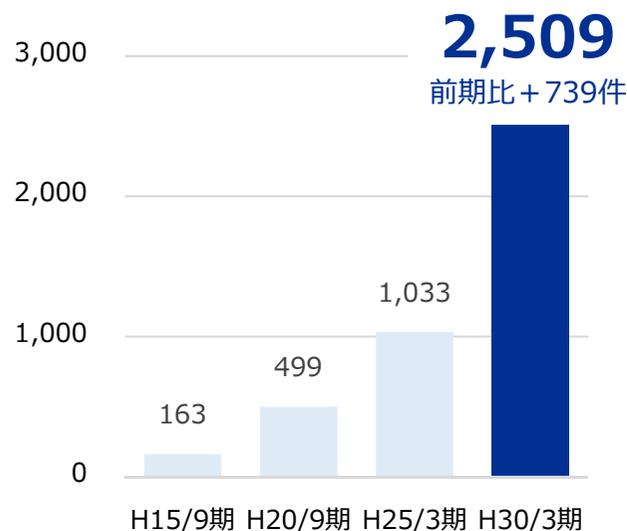


MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

平成11年9月にサービス開始、平成30年3月末に加盟店件数が2,500件を突破

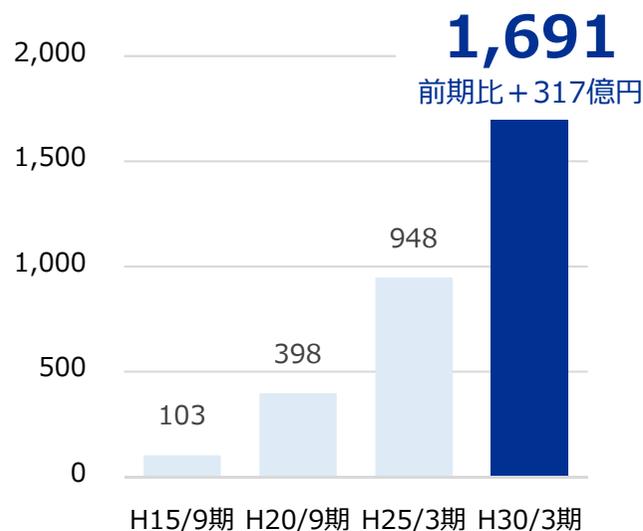
■ 加盟店件数

(単位：件)



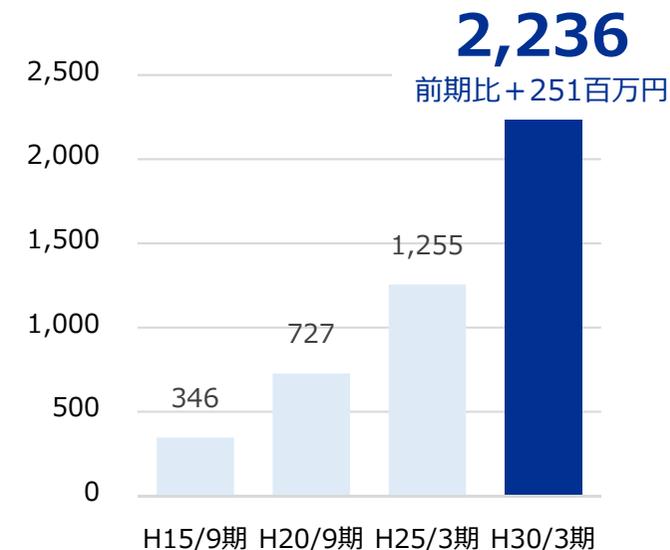
■ 医薬品取扱高

(単位：億円)



■ 受発注手数料

(単位：百万円)



■ トピックス

- ・ 提携先による加盟店紹介好調
 - ・ 共同購入団体、薬剤師会等の加盟増加
 - ・ 加盟店における「薬VAN」[※]の導入増加
※業務提携先オークラ情報システム(株)の医薬品在庫管理システム
- 在庫管理・発注の精度向上へ

■ セグメント売上高

(単位：百万円)

	H29/3期	H30/3期	増減額
受発注手数料	1,984	2,236	+ 251
システム販売額	1,046	1,228	+ 181
その他	205	175	▲ 30
合計	3,237	3,639	+ 402

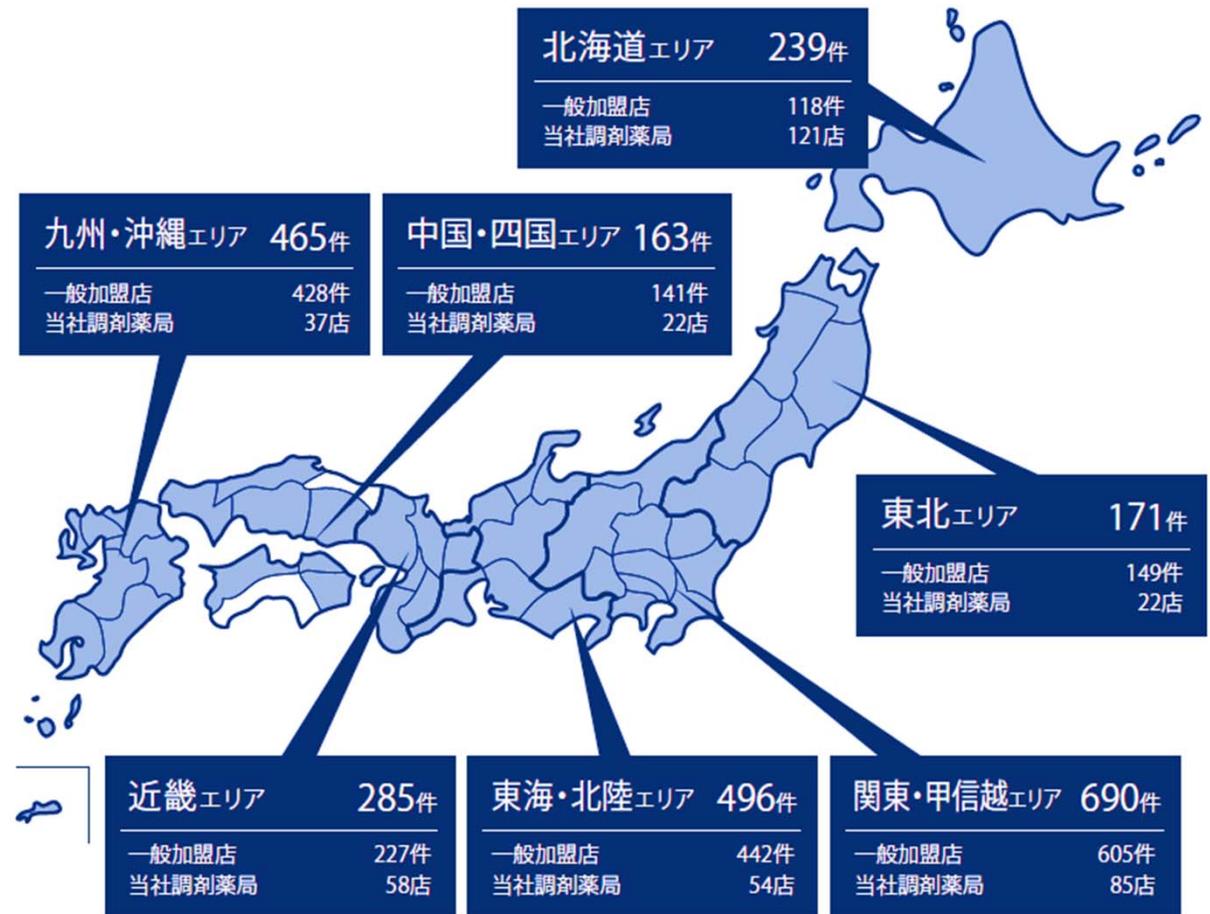
医薬品等ネットワーク事業 — 加盟店分布図 (平成30年3月31日時点)

45都道府県にて事業展開

(未進出県：鳥取県、高知県)

【加盟件数内訳】

(単位：件)	一般加盟店	当社調剤薬局	合計
北海道	118	121	239
東北	149	22	171
関東・甲信越	605	85	690
東海・北陸	442	54	496
近畿	227	58	285
中国・四国	141	22	163
九州・沖縄	428	37	465
合計	2,110	399	2,509



平成30年5月1日時点では
加盟件数 2,649件

医薬品製造販売事業



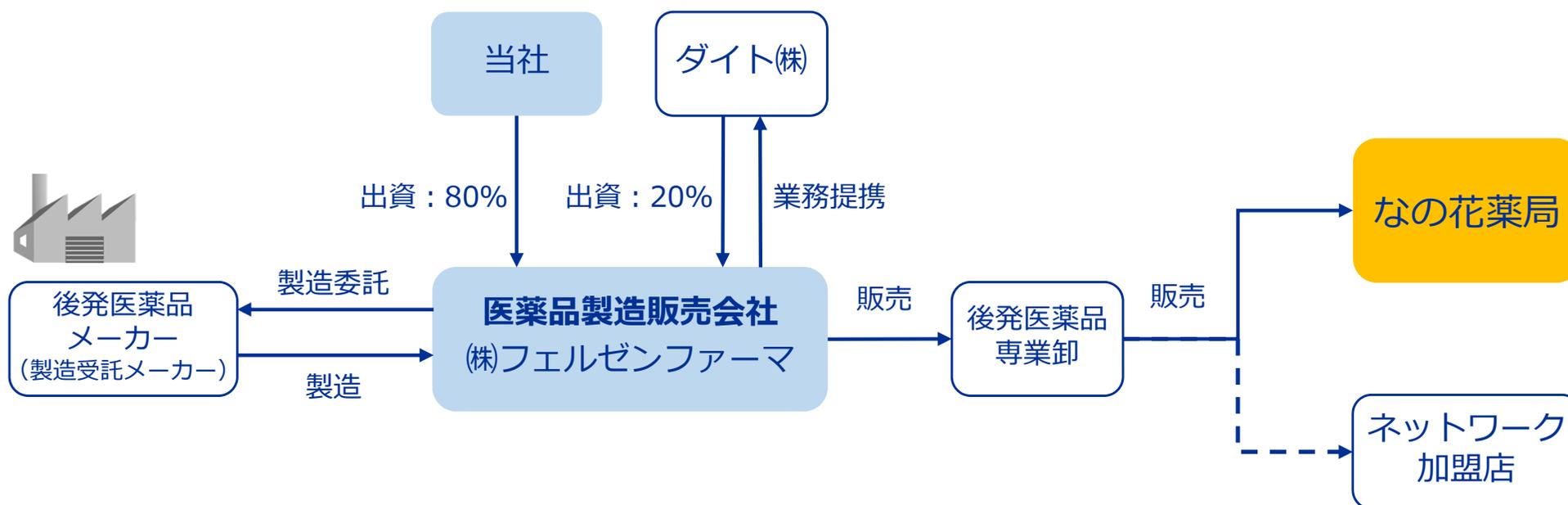
MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

当社連結子会社が後発医薬品の製造販売承認を取得（平成30年2月16日公表）

ビジネス
モデルの
特徴

- ・ 今後需要が拡大する 後発医薬品に特化
- ・ 製造は専門メーカーに委託、設備投資なし
- ・ メーカーの協力を得て ラインナップを拡充
- ・ 的確な需要把握による 無駄のない生産
- ・ 医薬品ネットワークの拡大に伴い 成長を展望

患者さまの手元まで
一貫した効率的な
医薬品流通を実現



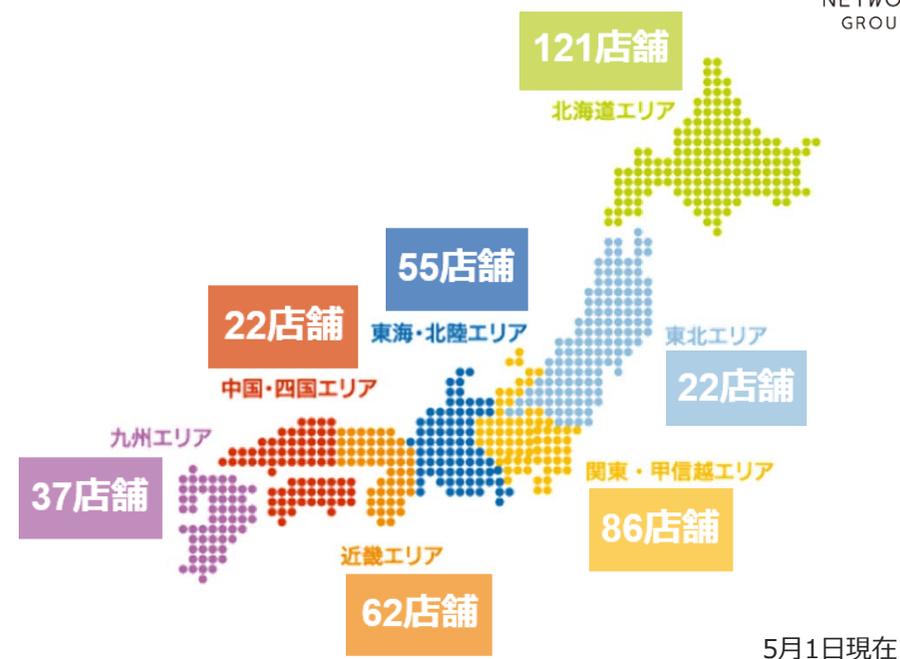
調剤薬局事業 — 調剤薬局店舗数の推移



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

前期末より、新規8店舗出店、M&Aにより19店舗取得、3店舗閉店、2店舗事業譲渡

	H29/3期末 店舗数	H30/3期末 店舗数	5月1日現在 店舗数
前期末店舗数	353	377	399
出店	8	8	1
閉店・事業譲渡	▲4	▲5	0
M&A	20	19	5
店舗数	377	399	405



新規出店及びM&Aにより、店舗数は10年で227店舗増

■ 過去10年間の調剤薬局店舗数推移

	H21/9期	H22/9期	H23/9期	H24/3期 [※]	H25/3期	H26/3期	H27/3期	H28/3期	H29/3期	H30/3期
出店	13	6	10	6	21	14	10	9	8	8
閉店・事業譲渡	▲5	▲2	▲4	▲3	▲8	▲7	▲13	▲8	▲4	▲5
M&A	0	28	4	6	33	45	27	7	20	19
店舗数	172	204	214	223	269	321	345	353	377	399

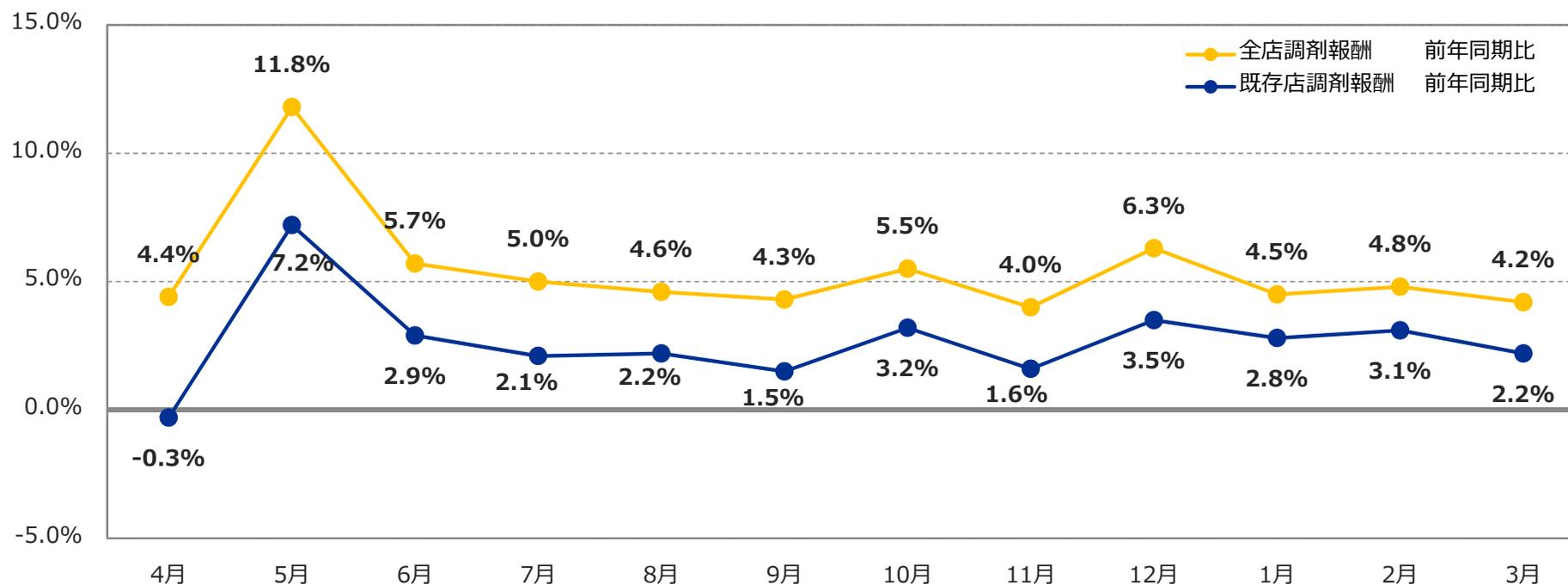
※決算期変更のため、H24/3期は6か月決算

調剤薬局事業 一月次調剤報酬の前年同月比較



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

全店・既存店とも堅調に推移



平成30年3月期

(単位：%)

	平成30年3月期												通期 累計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全店 調剤報酬 前年同月比	+ 4.4	+ 11.8	+ 5.7	+ 5.0	+ 4.6	+ 4.3	+ 5.5	+ 4.0	+ 6.3	+ 4.5	+ 4.8	+ 4.2	+ 5.4
既存店 調剤報酬 前年同月比	▲ 0.3	+ 7.2	+ 2.9	+ 2.1	+ 2.2	+ 1.5	+ 3.2	+ 1.6	+ 3.5	+ 2.8	+ 3.1	+ 2.2	+ 2.6

※本表における「既存店」は、開店後13か月を経過した店舗を対象とし、月によって対象店舗は変動

調剤薬局事業 — 調剤報酬の内訳

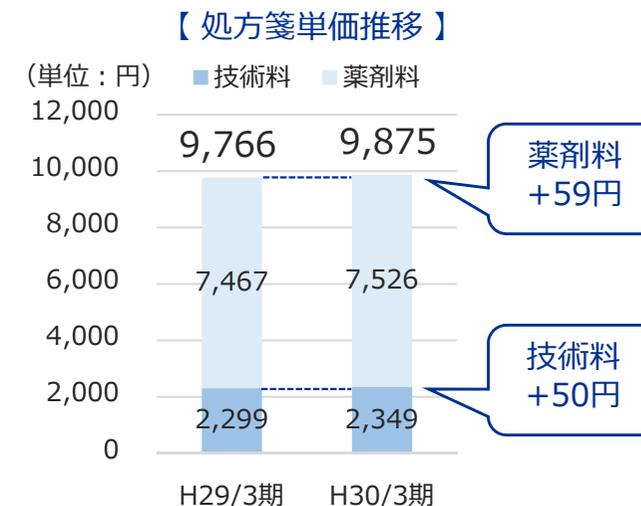


MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

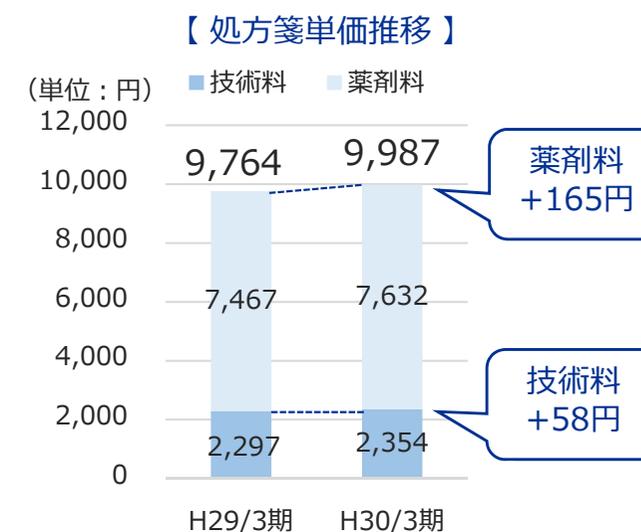
ポイント

調剤報酬改定対応の進展等により、技術料は伸長
既存店の処方箋枚数は伸び悩み

■ 全店		H29/3期	H30/3期	増減	
処方箋枚数 (千枚)	a	7,849	8,181	+ 331	(+ 4.2 %)
処方箋 単価 (円)	薬剤料 / 枚	7,467	7,526	+ 59	(+ 0.8 %)
	技術料 / 枚	2,299	2,349	+ 50	(+ 2.2 %)
	計 b	9,766	9,875	+ 108	(+ 1.1 %)
調剤報酬 (百万円)	c = a × b	76,662	80,788	+ 4,125	(+ 5.4 %)



■ 既存店		H29/3期	H30/3期	増減	
処方箋枚数 (千枚)	a	7,812	7,840	+ 27	(+ 0.4 %)
処方箋 単価 (円)	薬剤料 / 枚	7,467	7,632	+ 165	(+ 2.2 %)
	技術料 / 枚	2,297	2,354	+ 58	(+ 2.5 %)
	計 b	9,764	9,987	+ 223	(+ 2.3 %)
調剤報酬 (百万円)	c = a × b	76,283	78,296	+ 2,013	(+ 2.6 %)

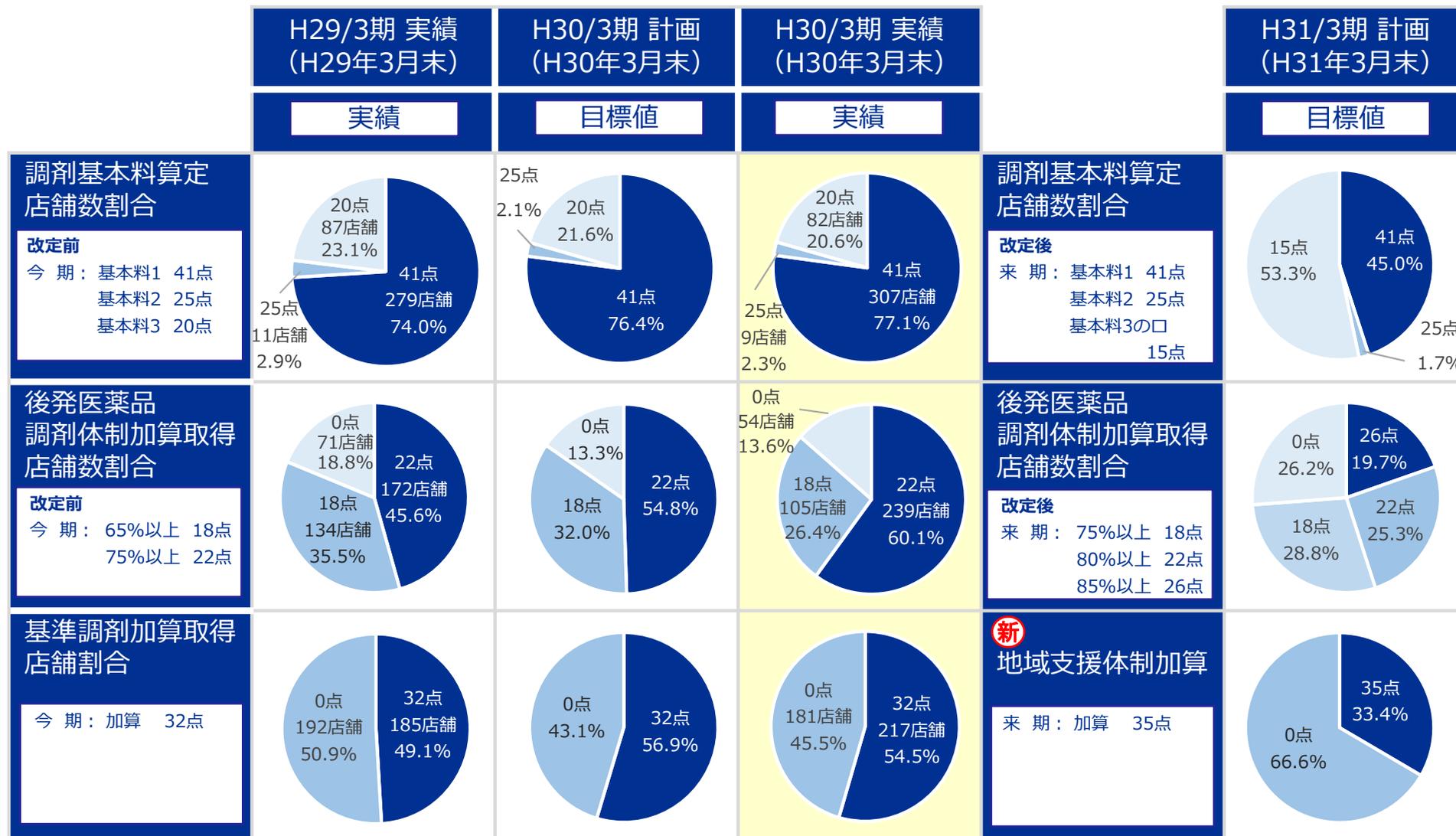


調剤薬局事業 — 調剤報酬改定の影響



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

H30/3は概ね計画通りに進捗、引き続き「地域薬局」である当社の特色を生かし、地域医療に貢献する薬局を目指すとともに、後発医薬品の使用促進により加算取得に注力



※H30/3期実績は、休止中の店舗を除く

調剤薬局事業 — かかりつけ機能の充実で選ばれるなの花薬局へ



患者のための薬局ビジョン（平成27年10月23日 厚生労働省）「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ

かかりつけ薬剤師・薬局が持つべき3つの機能

- ① 服薬情報の一元的・継続的把握
- ② 24時間対応・在宅対応
- ③ 医療機関等との連携

患者等のニーズに応じて強化・充実すべき2つの機能

- ④ 健康サポート機能→健康サポート薬局
- ⑤ 高度薬学管理機能

① 服薬情報の一元的・継続的把握

- オリジナル電子お薬手帳の一斉導入（平成30年5月）
- 残薬回収袋の配布

② 24時間対応・在宅対応

- 質の高い在宅訪問の提供
- 算定在宅実施店舗数 **300**店舗（平成30年3月現在）

③ 医療機関等との連携

- プレアボイド **4,974**件/年
患者の不利益（副作用・相互作用等）を回避した事例を積極的に収集
- 病院研修実施、病院・近隣薬局との情報交換会

電子お薬手帳
TOP画面



ポスター



在宅パンフレット



安心その1
お薬の飲み忘れ対策
飲み忘れや二重飲みなどのうっかりを防ぐことができます

- 「おくすりボックス」や「おくすりカレンダー」を活用し、朝・昼・夕・就寝前のお薬を分かりやすく整理
- ボックスやカレンダーはご要望や状況に合わせて提案

安心その2
お薬の服用をサポート
種類が多くて仕分けに時間がかかる！お薬の介助もサポートします

- 複数のお薬を「区分」ずつまとめ、日付や飲む時間を易くする印刷
- 必要に応じてお薬の色や包装方法を工夫してより飲みやすく
- 生活スタイルに合わせた処方内容の提案

安心その3
薬剤師が体調をチェック
お食事や排泄・睡眠・運動などの体調チェックを通じてお薬の効果・副作用等を確認します

安心その4
薬の飲み合わせも管理
かぜ薬などの市販薬や健康食品、サプリメントのご相談や複数の病院からの処方せんの管理も任せて安心です

緊急時対応 → **24時間365日**で緊急時に対応
医師の指示のもと、臨時薬等のご要望にも迅速に対応します。

調剤薬局事業 — かかりつけ機能の充実で選ばれるなの花薬局へ

患者のための薬局ビジョン（平成27年10月23日 厚生労働省）「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ

かかりつけ薬剤師・薬局が持つべき3つの機能

- ① 服薬情報の一元的・継続的把握 ② 24時間対応・在宅対応 ③ 医療機関等との連携

患者等のニーズに応じて強化・充実すべき2つの機能

- ④ **健康サポート機能→健康サポート薬局** ⑤ **高度薬学管理機能**

④ 健康サポート機能

- 健康サポート薬局 **17**店舗/405店舗（平成30年4月1日現在）
- 健康フェア実施 **255**回（平成30年3月期）
- 運動イベント定期開催 **10**店舗（平成30年3月現在）
- 栄養相談 **7,823**件（平成30年3月期）



NANO-Fit
なのフィット



⑤ 高度薬学管理機能

- 病院—保険薬局薬剤師の合同勉強会開催
抗がん剤の副作用マネジメント基礎セミナー等
- 教育の強化
認定薬剤師の取得サポート、臨床薬学研修の実施等





ウィステリア・シリーズ

サービス付き高齢者向け住宅 + 調剤薬局・病院・介護事業所・保育所の開発スタイル

【物件一覧】

■ウィステリアN17

平成19年12月開業
札幌市北区 総戸数 64戸

■ウィステリア清田

平成25年5月開業
札幌市清田区 総戸数75戸

■ウィステリア小樽稲穂

平成27年12月開業
北海道小樽市 総戸数81戸

■ウィステリア千里中央

平成28年5月開業
大阪府豊中市 総戸数82戸

■ウィステリア南一条

平成30年11月開業予定
札幌市中央区 総戸数 116戸

①北海道 既存3物件

(N17、清田、小樽稲穂)

- ・高い入居率で安定稼働
- ・平均入居率：91.5%
- ・減価償却負担がピークを越え投資回収ステージへ

②千里中央

- ・入居に時間を要し現在34戸
(入居率41.5%)

③南一条

- ・札幌市中心部の優れた立地
- ・営業活動の反応は良好



■南一条の完成により新規投資は完了

■今後1～2年かけて全物件を安定稼働・投資回収ステージへ

■地域医療の拠点として、薬局や多職種との連携を実現

■固定資産の保有形態は引き続き検討

コンプライアンスへの取組

■コンプライアンス研修の実施【実施済】

当社経営層を
対象とした
研修の実施

グループ各社
における
研修の実施

年代別社員集合
研修における
研修の実施

外部講師による
講義の活用

内部通報
制度の周知

■コンプライアンス体制の強化【継続中】

当社担当部門による
グループ横断的な
コンプライアンスの推進

Eラーニングの導入、
社内報による啓蒙

定例ミーティングによる
行動規範の再確認、
不適切事例のケーススタディ

■企業風土の活性化【継続中】

透明で公正な
企業風土による
自浄作用の強化

従業員満足度
調査の導入

グループ内の情報
格差の解消、
コミュニケーション
活性化の取組

社員の働く環境を
見つめ直し
活力を引き出す
取組

CSRの取組



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

■ 移植医療の普及啓蒙支援

北海道移植医療推進財団

公益財団法人
北海道移植医療推進財団
Hokkaido Transplant Medical Promotion Foundation



■ 障がい者雇用、漢方原料国内生産支援

(株)てみるファーム



■ 社会福祉に係る啓蒙支援

札幌社会福祉フォーラム

札幌社会福祉フォーラム 2017
共に生きる社会
— どう取り組み、創っていくのか —

10月21日(土) 12:30-16:40 道新ホール

当日のプログラム

- 12:30-13:00 開会式
- 13:00-14:15 基調講演 「共に生きる地域社会へ～新しい生活保障～」
- 14:15-14:30 休憩
- 14:30-15:00 パネルディスカッション 「新しい『地域共生社会』を構築するのには？」
- 15:00-15:30 閉会式



■ スポーツ支援

なの花薬局ジャパンセブンス



第五次中期経営計画

2019年3月期～2022年3月期

第四次中期経営計画レビュー【定量目標】

- M&A抑制・診療報酬改定の影響から売上・利益は伸び悩み、計画未達
- 医薬品ネットワーク加盟件数は計画を大きく上回って伸長

	第三次 中期経営計画 【実績】	第四次 中期経営計画 【当初目標】	第四次中期経営計画 【対象期間における実績推移】			
	2015/3期	2018/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	要因
連結売上高	755億円	1,050億円以上	877億円	888億円	939億円	M&A抑制 報酬改定
経常利益	25億円	38億円	38億円	21億円	32億円	報酬改定 その他事業低調
経常利益率	3.4%	3.6%以上	4.4%	2.4%	3.5%	
医薬品ネット ワーク加盟件数	1,200件	2,200件以上 (+333件/年)	1,400件 (+200件)	1,770件 (+370件)	2,509件 (+739件)	提携先好調
地域薬局店舗数	345店舗	500店舗以上	353店舗	377店舗	399店舗	M&A抑制

第四次中期経営計画レビュー【定性目標】



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

■ 事業面の重点施策は概ね良好な成果、グループ組織再編により効率化に着手

重点施策	評価	コメント
1. 医薬品ネットワークの拡大	◎	✓ 目標の2,200件を大幅超過
2. 「なの花スタンダード」の深化	○	✓ 在宅・多職種連携・未病・予防を推進 ✓ 医薬分業の真価の発揮に向け一層の取組強化
3. 店舗開発及び医師開業支援の更なる強化	△	✓ 医療モール等に注力、件数・採算性は改善余地
4. 調剤薬局M&Aの推進	△	✓ 優良案件に選別投資、価格競争を回避し件数は抑制
5. SMO事業（治験施設支援事業）の立て直し	—	✓ 環境変化により対象子会社を売却（2017年6月）
6. 徹底的な効率化	○	✓ 大規模なグループ組織再編を実施
7. 財務健全性の確保	△	✓ 利益蓄積・資本調達により財務強化 ✓ 大型施設のオフバランス化は未実現

第五次中期経営計画のポイント



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

■ 計画期間の変更（4か年）

- ・ 診療報酬改定サイクルに合わせ、従来の3か年から4か年に変更

■ SCM事業*と調剤薬局事業の利益額を 50 : 50に

*医薬品ネットワーク+後発医薬品

- ・ 医薬品ネットワーク加盟店を5,000件以上に拡大
- ・ 流通効率化を本格化、後発医薬品も利益貢献
- ・ 調剤薬局事業は医療機関としての質を高め安定成長

■ 大型投資の一巡、キャッシュフロー改善

- ・ 大型不動産投資の完了とM&Aのコントロールによりキャッシュフローが大幅改善

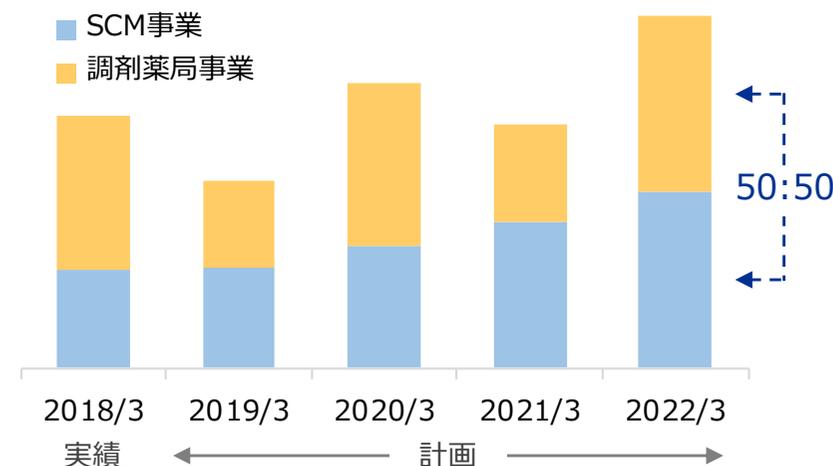
… 4年間の営業キャッシュフロー約220億円、投資キャッシュフロー約120億円（累計）

■ 健康経営・ESG（環境・社会・ガバナンス）

- ・ 地域住民の健康を支援する企業として健康経営を推進
- ・ ESGへの取組強化

【営業利益の推移イメージ】

（単位：億円）



第五次中期経営計画 経営目標【2022年3月期】

■ 医薬品ネットワーク加盟件数 **5,000 件**

■ 連結売上高 **1,200 億円** うちM&A・開発：120億円

■ 連結営業利益 **50 億円** 連結営業利益率：4.1%

• SCM事業※

35 億円

※医薬品ネットワーク+後発医薬品

• 調剤薬局事業

35 億円

(全社経費及び内部取引相殺前)

■ 連結EBITDA

75 億円

(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

■ 自己資本比率

30 %以上

【第五次中期経営計画 基本方針】

1. 医薬品ネットワークの拡大を通じ、地域医療を支える中堅・中小薬局の経営を支援するとともに、医薬品流通の効率化に加盟店が一丸となって取り組みます。
2. 医療機関としてグループ薬局の質を高め、地域医療における課題解決に主体的に取り組み、かかりつけ機能を発揮します。
3. 良質な後発医薬品の製造販売を拡大し、国が推し進める後発医薬品の普及促進と効率的な医薬品流通の実現に貢献します。
4. グループ事業の連携を深め、地域包括ケアシステムで必要とされる医療・介護・予防等のコミュニティ・ケア機能を一体的に提供します。
5. キャッシュフローを改善し、経営体制の効率化を進め、財務体質の強化を図ります。

また、地域住民の健康を支える企業として、社員の活力を高める健康経営を推進するとともに、環境への配慮や社会貢献活動、ガバナンスの向上に継続的に取り組みます。

平成31年3月期 業績予想

平成31年3月期 業績予想 – 連結業績



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

要因

医薬品等ネットワーク事業：加盟店順伸、薬価改定により売上・利益は微増

調剤薬局事業：新たな報酬体系への対応を進めるも、薬価・報酬改定により短期的には業績への影響が避けられず

	H30/3期 実績	H31/3期 予想	増減額	増減率
(単位：百万円)				
売上高	93,977	95,500	+ 1,522	+ 1.6 %
営業利益 利益率	3,163 3.4 %	1,700 1.8 %	▲ 1,463 ▲ 1.6 p t	▲ 46.3 %
経常利益 利益率	3,250 3.5 %	1,650 1.7 %	▲ 1,600 ▲ 1.8 p t	▲ 49.2 %
親会社株主に帰属する 当期純利益 利益率	1,022 1.1 %	520 0.5 %	▲ 502 ▲ 0.6 p t	▲ 49.1 %
1株当たり当期純利益 (円)	34.45	16.57	▲ 17.88	—

平成31年3月期 業績予想 – セグメント別業績

■ 売上高

(単位：百万円)		H30/3期 実績	H31/3期 予想	増減額	増減率
売上高		93,977	95,500	+ 1,522	+ 1.6 %
医薬品等ネットワーク事業		3,639	3,658	+ 18	+ 0.5 %
調剤薬局事業		87,172	88,457	+ 1,284	+ 1.5 %
ほか 5事業 [※]		6,228	6,310	+ 82	+ 1.3 %
調整額		▲ 3,063	▲ 2,926	+ 137	–

■ 営業利益

(単位：百万円) カッコ内は利益率		H30/3期 実績	H31/3期 予想	増減額		増減率
セグメント利益		3,163 (3.4 %)	1,700 (1.8 %)	▲ 1,463	(▲ 1.6 pt)	▲ 46.3 %
医薬品等ネットワーク事業		1,949 (53.6 %)	2,034 (55.6 %)	+ 85	(+ 2.0 pt)	+ 4.4 %
調剤薬局事業		3,060 (3.5 %)	1,699 (1.9 %)	▲ 1,360	(▲ 1.6 pt)	▲ 44.5 %
ほか 5事業 [※]		▲ 235 (–)	▲ 335 (–)	▲ 100	(–)	–
調整額		▲ 1,610 (–)	▲ 1,699 (–)	▲ 88	(–)	–

※ 賃貸・設備関連事業、給食事業、治験施設支援事業（平成29年6月21日付で運営会社株式を譲渡）、訪問看護事業、医薬品製造販売事業

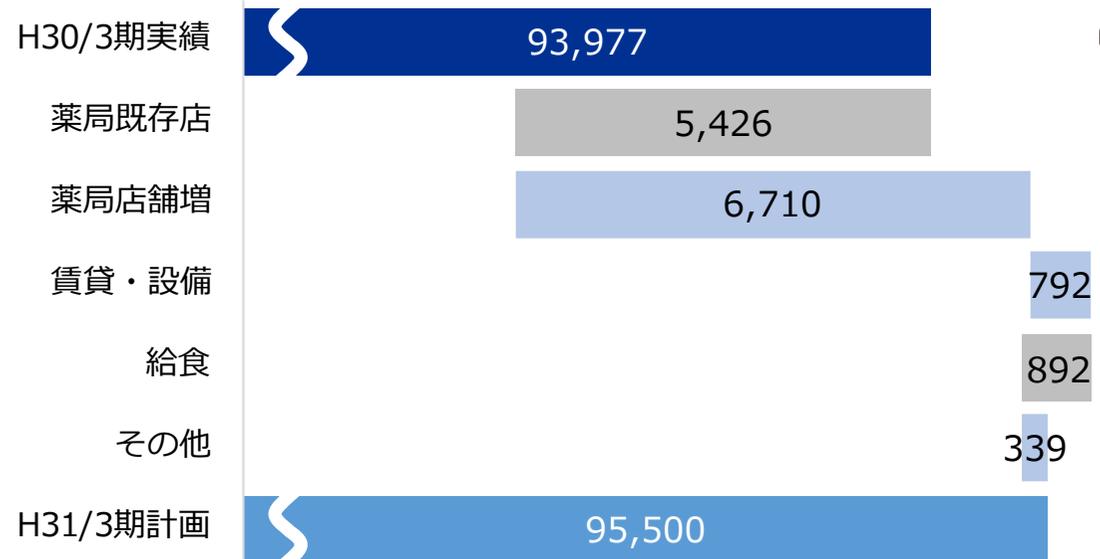
平成31年3月期 業績予想 — 前期比要因



■ 売上高

- ・ 薬局 改定影響で既存店減収ながら新規出店・M&Aが業績寄与
- ・ 賃貸・設備 サ高住の入居増
- ・ 給食 不採算施設撤退

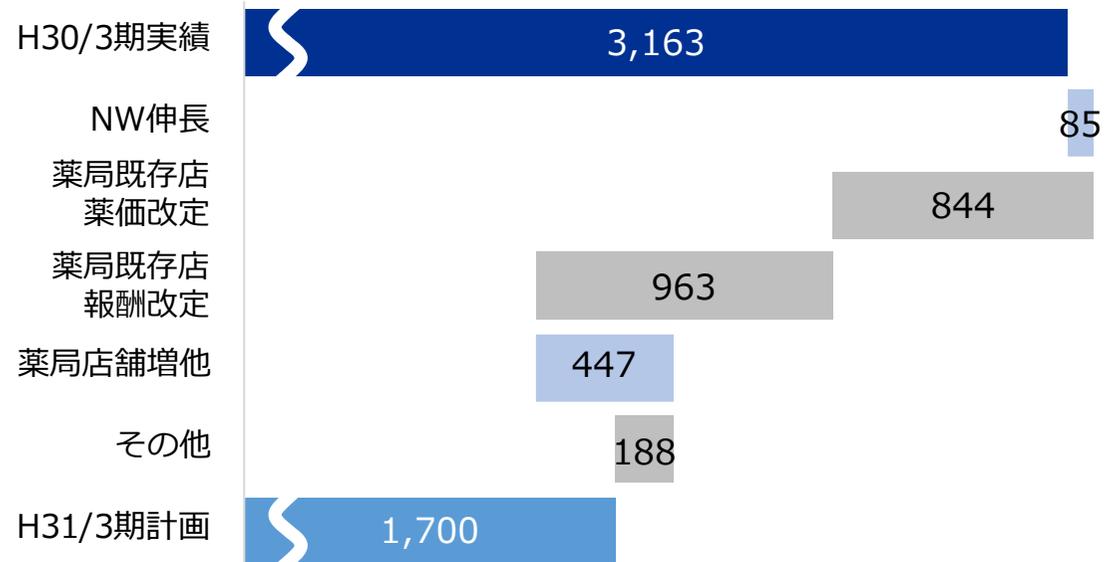
(単位：百万円)



■ 営業利益

- ・ 医薬品ネットワーク 加盟店伸長
- ・ 薬局 薬価と技術料の下落による粗利の減少
- ・ その他 サ高住の新規開業費用等

(単位：百万円)





■ 医薬品等ネットワーク事業

- ・ 加盟件数 5,000件に向けた体制強化
- ・ 流通効率化：在庫管理・発注の精度向上
- ・ サービス拡充：新規メニュー検討
- ・ 期末加盟件数目標：**3,200**件

■ 調剤薬局事業

- ・ 調剤報酬改定への対応、処方箋獲得
- ・ 医療の質の向上
 - ： 個人活動の見える化と教育研修
- ・ 在宅・健康サポート機能の強化
- ・ 出店・M&A：新規 **20**店舗増

■ 賃貸・設備関連事業

- ・ 「ウイステリア千里中央」と11月開業の「ウイステリア南1条」の入居者獲得

■ 給食事業

- ・ 食材費適正化、安全衛生

■ 訪問看護事業

- ・ 事業所拡大、早期黒字化

■ 医薬品製造販売事業

- ・ ラインナップの拡充

■ その他のテーマ

- ・ 医療・介護連携：(株)ポラリス（業務提携先）
- ・ 医療ICTへの対応：電子お薬手帳
- ・ 健康経営

平成31年3月期 配当予想について



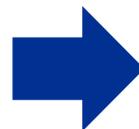
MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

平成31年3月期の配当予想は、中間配当金・期末配当金それぞれ1株につき5円00銭とし、1株当たり年間配当金は10円00銭を予定

【株主還元指標】

■平成30年3月期（見込）

1株当たり年間配当金 10円00銭
配当性向 29.0%

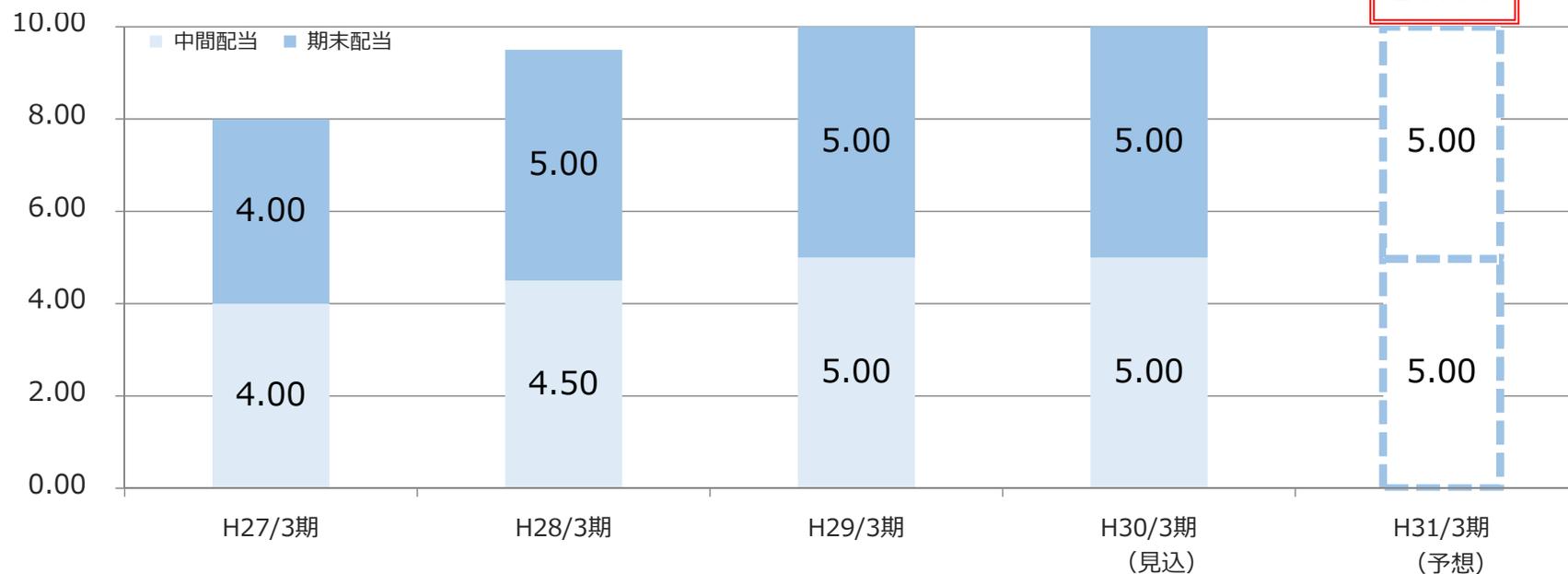


■平成31年3月期（予想）

1株当たり年間配当金 10円00銭
配当性向 60.4%

(単位：円・銭)

【1株当たり年間配当金推移】



参考資料

平成30年度診療報酬改定～調剤報酬点数表①



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

調剤基本料

【調剤基本料】

改定前

	要件	点数	
		妥結率 51%超	妥結率 50%以下
A	【B・Cではない場合 または B・Cであり①②に該当する場合】 ①店舗薬剤師の5割以上がかかりつけ薬剤師 ②薬剤師1名あたり月100回以上かかりつけ薬剤師指導料を算定	調剤 基本料1 41点	調剤 基本料 4 31点
B	【Cではなく かつ ①～③のいずれかに該当】 ①処方箋受付回数月4,000回超かつ集中度70% ②処方箋受付回数月2,000回超かつ集中度90% ③特定医療機関の処方箋受付回数4,000回超	調剤 基本料2 25点	調剤 基本料5 19点
C	【同一グループの処方箋受付回数の合計が月4万回超で①～③のいずれかに該当】 ①集中度95%超 ②特定医療機関と不動産賃貸借取引 ③届出なし	調剤 基本料3 20点	特別調剤 基本料 15点



改定後

	要件	点数
調剤 基本料1	【下記に該当しない薬局】	41点
調剤 基本料2	①処方箋受付回数月4,000回超かつ集中度70%超 ②処方箋受付回数月2,000回超かつ集中度85%超 ③特定医療機関の処方箋受付回数4,000回超 →薬局と同一建物内に複数の医療機関がある場合は、全医療機関からの受付回数を合算した回数 ④特定医療機関の処方箋受付回数4,000回超 →グループ内に、同一の医療機関の集中度が最も高い薬局が他にある場合は、その薬局の受付回数も含む。	25点
調剤 基本料3 のイ	【処方箋受付回数の合計が月4万回超40万回以下の同一グループに属する薬局のうち、以下のいずれかに該当】 ①集中度85%超 ②特定医療機関と不動産賃貸借取引 ※特別調剤基本料の1の薬局を除く	20点
調剤 基本料3 のロ	【処方箋受付回数の合計が月40万回超のグループに属する薬局のうち、以下のいずれかに該当】 ①集中度85%超 ②特定医療機関と不動産賃貸借取引 ※特別調剤基本料の1の薬局を除く	15点
特別調 剤基本 料	1. 病院と不動産取引等の特別な関係を有し、当該病院の集中度95%超 2. 調剤基本料1、2、3のイ・3のロのいずれにも該当しない（届出がない薬局）	10点

平成30年度診療報酬改定～調剤報酬点数表②



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

調剤基本料

【基準調剤加算】

改定前

区分	主な算定要件（追加・変更要件）	点数
基準調剤加算 ※“調剤基本料1” 算定薬局のみ 算定可能	<ul style="list-style-type: none"> 一定時間以上の開局（平日8時間/日以上、土日いずれか一定時間、週45時間以上） 備蓄医薬品：1,200品目 在宅業務実績（1回/年以上） プライバシーに配慮した構造 管理薬剤師の実務経験（勤務経験5年以上、週32時間以上同一店舗かつ1年以上勤務） かかりつけ薬剤師指導料等にかかる届出等 	32点

改定後

廃止

→基準調剤加算に代わり、
地域医療に貢献する薬局を評価するために
地域支援体制加算を新設



【地域支援体制加算】**新**

共通要件[※]

主な算定要件
<ul style="list-style-type: none"> 一定時間以上の開局（平日8時間/日以上、土日いずれか一定時間、週45時間以上） 在宅業務実績（1回/年以上） プライバシーに配慮した構造 管理薬剤師の実務経験（勤務経験5年以上、週32時間以上同一店舗かつ1年以上勤務） かかりつけ薬剤師指導料等にかかる届出 医療安全に資する体制と取組の実績 副作用に係る手順書の作成、副作用報告の実施 集中率85%超の場合、後発医薬品の調剤割合が50%以上

基本料	主な算定要件	点数
調剤基本料1	以下①～③の基準をすべて満たすこと ①麻薬小売業者の免許を受けている ②直近1年間に在宅業務の実績を有している ③かかりつけ薬剤師指導料又は包括管理料の届出	35点
調剤基本料1以外 ※実績の基準 (直近1年間に常勤薬剤師1人あたり)	地域医療に貢献する体制と相当の実績を有している ①時間外等加算、夜間・休日等加算 400回 ②麻薬指導管理加算※ 10回 ③重複投薬・相互作用等防止加算等※ 40回 ④かかりつけ薬剤師指導料等 40回 ⑤外来服薬支援料※ 12回 ⑥服用薬剤調整支援料※ 1回 ⑦単一建物診療患者が1人の場合の在宅薬剤管理 12回 ⑧服薬情報等提供料※ 60回 ※かかりつけ薬剤師包括管理料を換算している患者に対して、これに相当した業務を実施した場合を含む	

※ 調剤基本料1・調剤基本料1以外どちらにも共通する要件

平成30年度診療報酬改定～調剤報酬点数表③



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

調剤基本料

【後発医薬品調剤体制加算】

平成32年9月までにGE数量シェア80%以上という目標達成のため加算3を新設

区分	GEシェア		点数
	改定前	改定後	
後発医薬品調剤体制加算1	65%以上	75%以上	18点
後発医薬品調剤体制加算2	75%以上	80%以上	22点
後発医薬品調剤体制加算3 新	-	85%以上	26点

薬学管理料

【薬剤服用歴管理指導料】

内服薬の調剤料の評価の見直し

主な算定要件	点数	
	改定前	改定後
① 原則6カ月以内に再度処方箋を持参した患者に行った場合	38点	41点
② ①以外の患者に対して行った場合	50点	53点
③ 特別養護老人ホーム入居者に訪問して行った場合	38点	41点
お薬手帳を持参しない患者、調剤基本料1以外	50点	53点
お薬手帳活用実績が相当程度あると認められない薬局 新	-	13点

【服用調剤調整支援料】 **新**

対人業務に係る薬学管理料の充実

主な算定要件	点数
6種類以上の内服薬（特に規定するものは除く）が処方されていたものについて、処方医に対して、保険薬剤師が文書を用いて提案し、当該患者に調剤する内服薬が2種類以上減少した場合に、月1回に限り所定点数を算定する。	125点

調剤料

【内服薬】

対物業務から対人業務へ転換を進めるため、包括点数が引き下げになる

区分	改定前	改定後
15日以上21日以下の場合	70点	67点
22日以上30日以下の場合	80点	78点
31日以上の場合	87点	86点

会社概要

(平成30年3月31日時点)



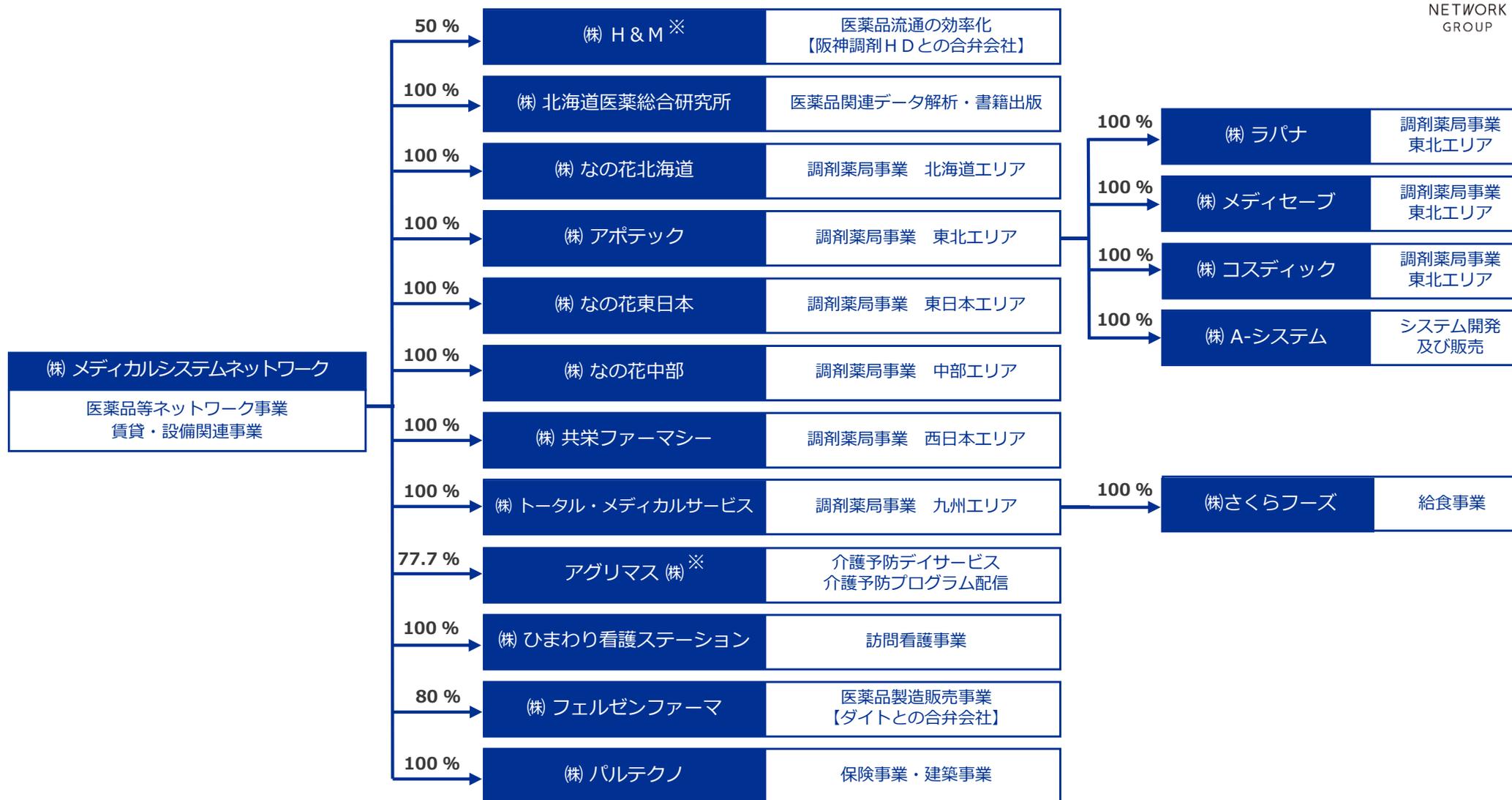
MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

社名	株式会社 メディカルシステムネットワーク (MEDICAL SYSTEM NETWORK Co.,Ltd.)		
代表者	代表取締役社長 田尻 稻雄	事業内容	医薬品等ネットワーク事業 調剤薬局事業 賃貸・設備関連事業 給食事業 訪問看護事業 医薬品製造販売事業
設立	平成 11年 9月 16日		
所在地	札幌市中央区北10条西24丁目3番地	資本金	2,097 百万円
主な連結子会社	株式会社 北海道医薬総合研究所 株式会社 なの花北海道 株式会社 アポテック 株式会社 なの花東日本 株式会社 なの花中部 株式会社 共栄ファーマシー 株式会社 トータル・メディカルサービス	大株主	合同会社エスアンドエス 9.07 % 沖中 恭幸 8.14 % 秋野 治郎 7.25 % K B L E P B S. A.107704 5.63 % 日本トラスティ・サービス 3.63 % 信託銀行株式会社(信託口)
従業員	単体 229人 (連結 2,815人)	株主総数	7,856名
上場市場	東京証券取引所 市場第一部	証券コード	4350
		発行済株式総数	30,522,600株

グループ図 (平成30年5月1日時点)



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP



当社グループ店舗 計417店舗

(ケアプランセンター1店舗、ドラッグストア8店舗、訪問看護ステーション3ヶ所を含む)

※連結対象外

株式会社 メディカルシステムネットワーク

<http://www.msnw.co.jp/>

MSNW

検索



【 お問い合わせ先 】

経営企画部

TEL : 011-613-7750

E-mail : info@msnw.co.jp